

委員長 齋藤 康弘

2013年度、当委員会は組織づくりを基本とした理念で青年会議所としての誇りを持ち、規律を重んじる運営を目指してまいりました。

本年は運営の要である各種マニュアルを精査し活用してまいりました。新たに後援・協力規定を運営規程に取り込みました。

理事会運営においては議案の配信が期日に間に合わないこともあり、多くの理事に迷惑をかけることになってしまいました。議案配信の遅延は資料を熟読する時間を減らすことになり、多くの臨時理事会の開催へと繋がってしまい、理事会の円滑な運営ができませんでした。委員会運営では新たに設けた出席率をまとめ、各委員会の出席状況を把握してまいりました。数字を出すことにより出席率の向上を目指しましたが、委員会及び例会出席率を上げることができませんでした。

また審査会議では、規則審査会議、財政審査会議、公益審査会議をまとめ、各委員会の副委員長、幹事が出向して開催してまいりました。ここでは普段議案書を見ることのないメンバーが議案書に触れる機会を提供することができました。

事務局内ではIP電話を事業系の委員会がすぐに使えるよう手配してまいりました。また昨年まで管理できていなかった事務局のカードキーも管理者を決め浦安商工会議所に管理者一覧表を提出しました。さらに備品貸し出しリストの作成も行い、備品の貸し出しを総務委員会で把握することで情報の整理を行ってまいりました。

2月と11月に開催した総会では講演をいれる試みを行いました。我々がJC活動をしていくうえで必要なもの、また自身の成長のために出向はするべきだということを学び、メンバーのJCへの意識が高まりました。2月の会員褒賞では映像を使う試みも行い、その時を思い出し涙するメンバーも見られ、記憶に残る素晴らしい総会となりました。

その他事業としましては、JC Iアジア太平洋会議ASPAC光州大会で、ブース出店をし浦安のお祭り文化を体験していただくアピールをしました。日本だけでなく多くの外国人がブースにいらっやって日本、浦安の文化を発信することができました。また浦安の地元中学生がJC I 少年少女国連大使に応募し、浦安JCから推薦させていただいたことにより、日本JCの事業に参加する機会が増え、子供の夢を大きく花開かせる手助けをすることができました。

最後に初委員長である私を支えてくださった、浦安青年会議所メンバー並びにOB・OGの皆様へ深く感謝の意を表すとともに、皆様のご多幸をお祈りいたします。1年間ありがとうございました。